

在宅療養における医療機器（※）の取得までの流れ

※ここでは吸引器・ネブライザー（吸入器）・パルスオキシメーターとします

<まず、確認しましょう>

自宅で医療機器を使用する場合は、**医師の指示が必要**になります。

また、同じ医療機器でも、病気や症状に合わせて様々な機能・種類のものがありますので、入院中であれば病院スタッフ（主治医や担当看護師、医療ソーシャルワーカーなど）、在宅療養中であれば医師や訪問看護師などに、**どのタイプ（機能や種類など）のものを準備したらよいかを確認**しましょう。

医療機器によっては、レンタル対応しているものもあります。どれほどの期間利用するかによっても変わってきますので、購入するか、レンタルにするかについても検討しましょう。

購入する場合

身体障害者手帳を持っている場合や難病の患者さんの場合は、制度による助成を受けられる場合があります（日常生活用具給付等事業の在宅療養等支援用具）。

◇助成の対象となるかどうか知りたいけれど、誰に聞けばいいの？

入院中の場合 ➡ 病院の医療ソーシャルワーカー

在宅療養中の場合 ➡ 通院先の医療ソーシャルワーカーや医師、訪問看護師、
ケアマネジャー、市町村障害福祉課などに相談をしてみましょう。

◇助成制度を利用する場合の手続きはどこ？

申請先は、市町村障害福祉課になります。

身体障害者手帳、難病受給者証または診断書、見積書、印鑑を持参して、手続きを行います。

<費用>

基準額の範囲内であれば、原則 1 割負担で購入できます（所得に応じて負担上限月額あり）。

品目	対象	基準額（円）
ネブライザー	呼吸器機能障害 1 級若しくは 3 級又は同程度の障害児者で原則として学齢以上の者、または難病患者等で呼	36, 000
電気式たん吸引器	吸機能に障害のある者。	56, 400
パルスオキシメーター	難病患者等で人工呼吸器の装着が必要な者。	157, 500

（参考）

医療機器の本体価格の目安

吸引器：5～12万程度、ネブライザー：2～8万程度、パルスオキシメーター：3～20万程度

レンタルにする場合

自費での利用になります。

（参考）1月当たりのレンタル費用の目安

- 吸引器 ：3000～8000円/月程度
- ネブライザー ：3000～5000円/月程度
- パルスオキシメーター ：4000円/月程度

※かかりつけ医や利用している訪問看護ステーションから、一時的に貸し出しを受けられる場合もありますので、相談をしてみても良いかもしれません。